

名古屋港

整備拡充の要望書

2025年 11月

愛 知 県
名 古 屋 市
名 古 屋 港 管 理 組 合
名 古 屋 商 工 会 議 所
一般社団法人中部経済連合会

要 望

名古屋港の2024年の港勢は、総取扱貨物量は1億5,671万トンと23年連続、輸出額と輸入額の差引額は8兆5,966億円と27年連続日本一を堅持しました。

中部地域のものづくり産業を強力に支援する国際産業戦略港湾の実現に向けて、一層の物流の効率化を進めるとともに、港の強靱化を図り、日本経済の持続的な成長に寄与する港づくりに取り組んでまいります。

特に物流面においては、経済の好循環を加速・拡大させるべく、当地域のものづくり産業をはじめとする企業のサプライチェーンを支えるため、**コンテナ等の取扱機能の強化**に加え、**DXを原動力とするコンテナターミナルの生産性の向上**やサイバー攻撃によるシステム障害の再発防止等に向けた**サイバーセキュリティ対策の強化**を図る必要があります。さらに、ものづくり産業の成長と地域のカーボンニュートラルの実現の両立に貢献していくため、名古屋港港湾脱炭素化推進計画を踏まえ、関係者と連携して**カーボンニュートラルポートの形成**を推進しています。

防災・安全面においては、南海トラフ巨大地震等の大規模災害への対応に向けて、これまで「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等により、**国土強靱化施策を着実に推進**することができました。さらに今後も引き続き、地域の生活や産業を守る安全で安心な港湾を実現するためにも、「**第1次国土強靱化実施中期計画**」のもと、**国民経済・生活を支える防災インフラ**における**耐災害性強化**や、**老朽化対策の更なる加速化・深化**を図る必要があります。

交流・環境面においては、**良好な水辺空間の形成**を図り周辺開発と一体となった**親しまれる港づくり**や、**港内環境を良好な状態に維持**し、**水域の適切な管理**に取り組んでいます。

これらの実現に向け、地域としても全力を挙げてまいります。格段のご理解と更なる支援が不可欠です。

つきましては、**港湾整備及び海岸整備に必要な予算の確保**、並びに**施策の推進**に対して、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

2025年 11月

愛 知 県 知 事	大 村 秀 章
名 古 屋 市 長	広 沢 一 郎
名古屋港管理組合管理者 名古屋市長	広 沢 一 郎
名古屋商工会議所会頭	嶋 尾 正
一般社団法人中部経済連合会会長	勝 野 哲

1. ものづくりを支える港

国際競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり

我が国経済を牽引する中部地域の基幹・次世代産業の経済社会活動を支えるため、ストック効果の最大限発現に向けコンテナ取扱機能の強化を集中的に推進すること。

D Xを原動力とするコンテナターミナルの生産性向上を図るため、A Iターミナルの実現に向けて支援すること。

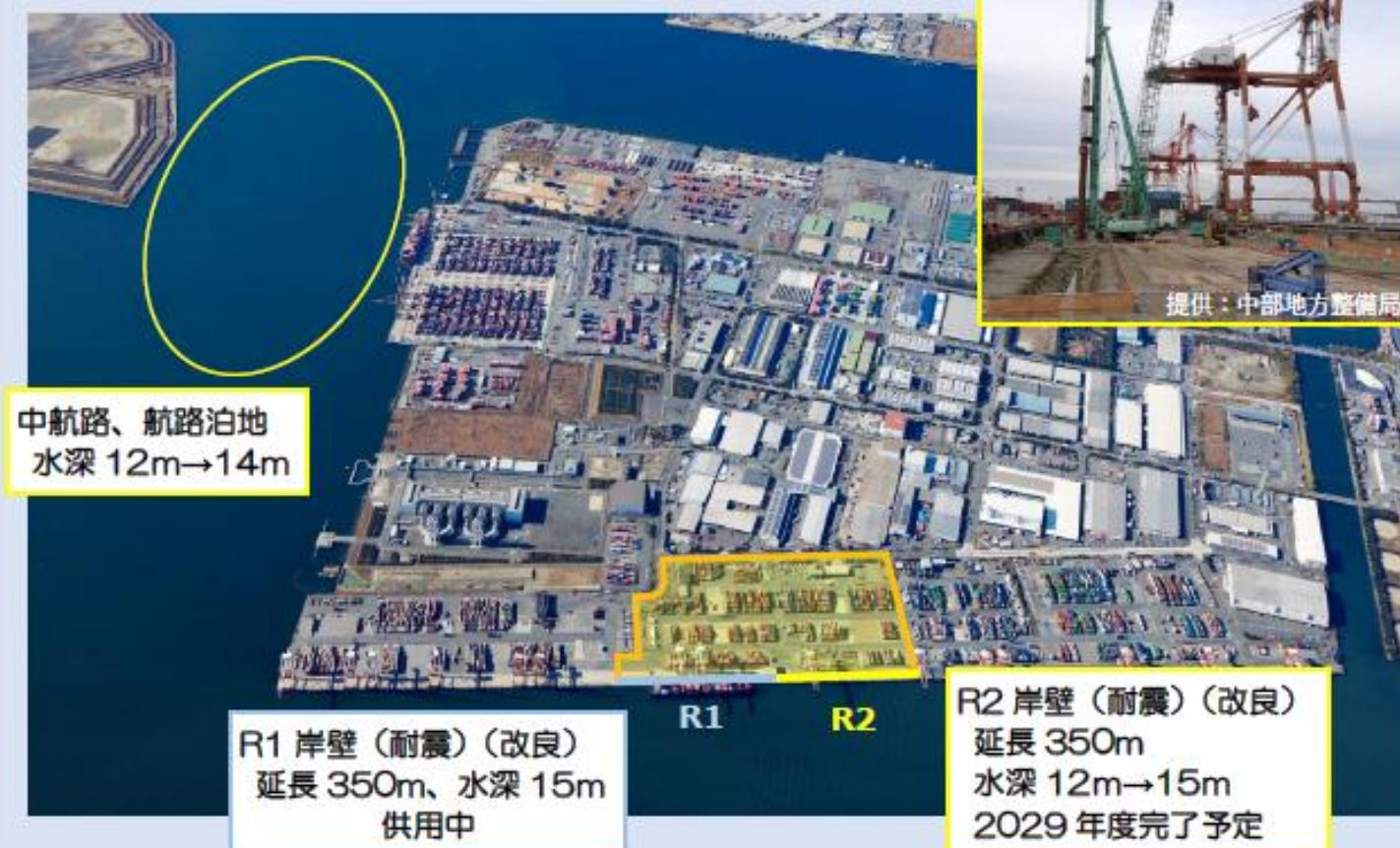
コンテナターミナルにおけるサイバーセキュリティ対策の強化に向け、必要な支援を行うこと。

カーボンニュートラルポートの形成を推進するため、荷役機械等の水素化に向けた実装実証に対する支援や、水素燃料電池及び電動化荷役機械等の導入に対する支援制度を拡充すること。

名古屋港の港湾整備に伴い発生する浚渫土砂の処分場整備を着実に推進すること。

飛島ふ頭地区のコンテナ取扱機能の強化

ストック効果の最大限発現



コンテナターミナルの高度化の促進

D Xを原動力とするコンテナターミナルの生産性向上

A Iターミナルの実現
（荷役機器等の作業状況を
踏まえた荷役指示最適化
に関する技術開発
2024～2026 年度）

飛島ふ頭南側コンテナターミナル

コンテナターミナルにおける
サイバーセキュリティ対策の強化



港湾荷役機械等の脱炭素化の促進

カーボンニュートラルポートの形成

水素燃料電池換装型 RTG の整備



輸送車両の水素燃料電池化



提供：トヨタ自動車(株)

中部国際空港沖 土砂処分場の着実な整備

港湾整備に必要な機能確保

整備状況



提供：中部地方整備局

中部国際空港沖

土砂処分場
2022 年 2 月 工事着手



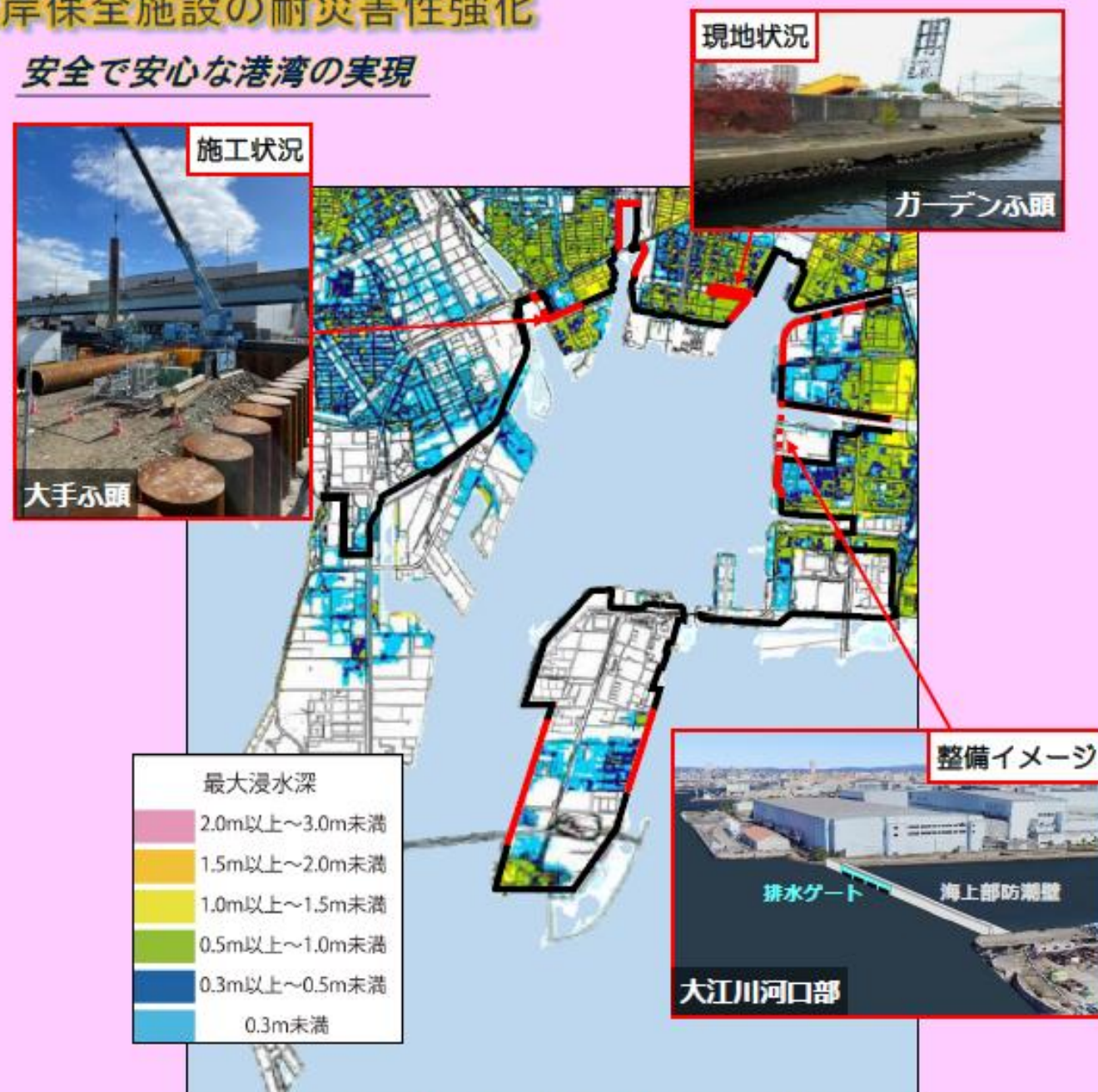
2. 安全・安心な港

防災機能の一層の強化と老朽化に対応した港づくり

地域の生活や産業を守る安全で安心な港湾を実現するため、第1次国土強靱化実施中期計画のもと、南海トラフ巨大地震等の大規模災害に対する耐災害性強化や、予防保全型インフラメンテナンスへの早期転換に向けた老朽化対策の更なる加速化・深化について支援・推進すること。

海岸保全施設の耐災害性強化

安全で安心な港湾の実現



出典：南海トラフ巨大地震の被害想定について（名古屋市）

地震・津波対策が必要な区間

6.2 kmの早期整備が必要

港湾施設の老朽化対策

予防保全型インフラメンテナンスへの早期転換



3. 親しまれる港

環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある港づくり

港と都心を結ぶ中川運河において、水辺に親しめる空間を形成するため、**プロムナード整備や運河改良について支援**すること。

また、水辺空間を活かした魅力ある地域づくり及び秩序ある公共水域の利用の実現のため、プレジャーボートの利用環境改善及び適正な管理を推進できるよう**ボートパーク整備について支援**すること。

プロムナード整備や運河改良

水辺に親しめる空間の形成

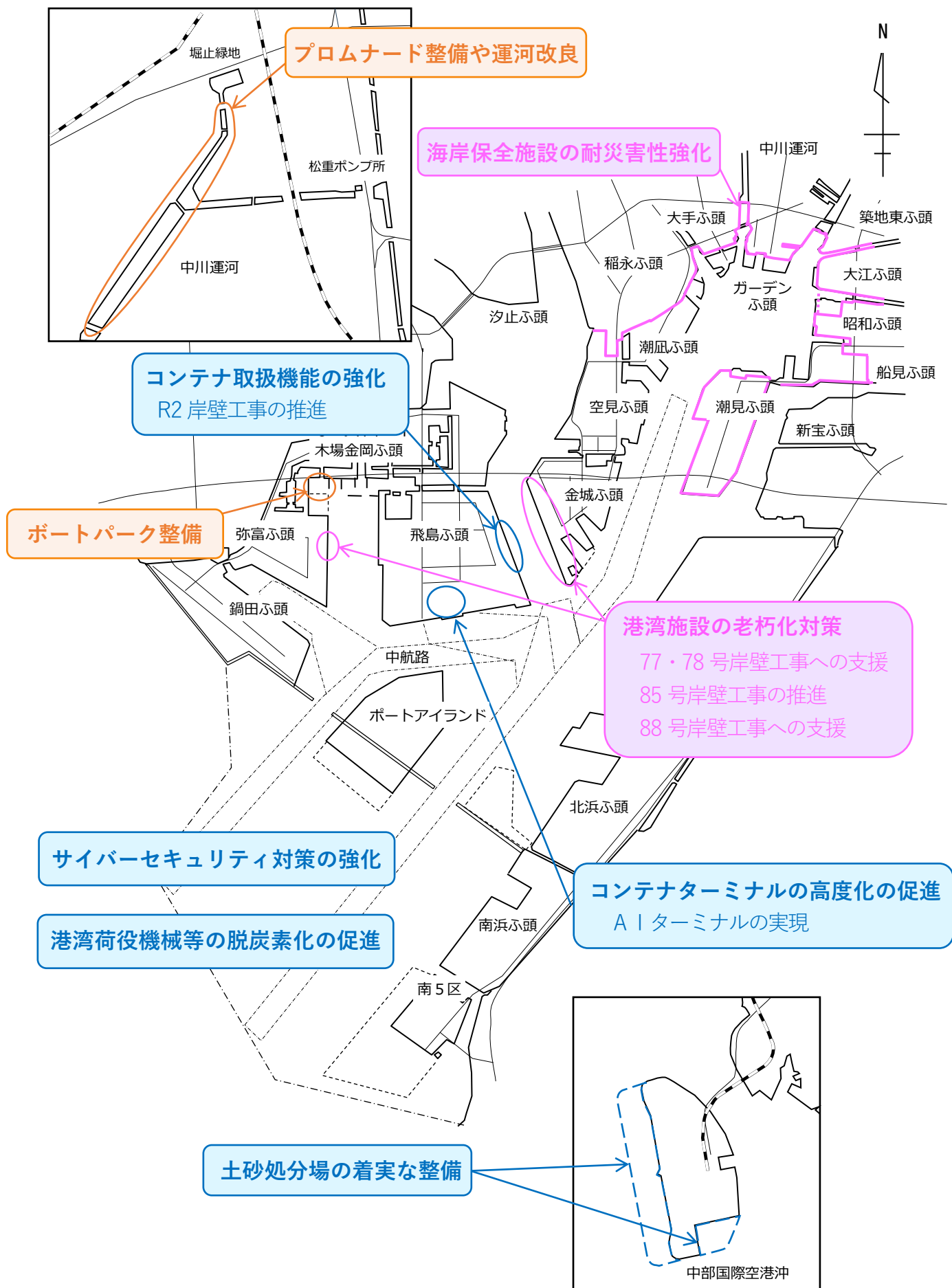


ボートパーク整備

水辺空間を活かした魅力ある地域づくり
秩序ある公共水域の利用の実現



箇 所 図



名古屋港を取り巻く近況

○背後圏には、基幹・次世代産業である「自動車」、「工作機械」、
「航空宇宙」等の主要メーカーが多数立地



○名古屋港と背後圏を結ぶ 充実した道路ネットワーク



○切迫する南海トラフ巨大地震等 による津波被害予測



出典：愛知県「2011 年度～2013 年度 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果」

既存施設を活かした **港湾整備**を推進し、

○コンテナ物流効率化の取り組み

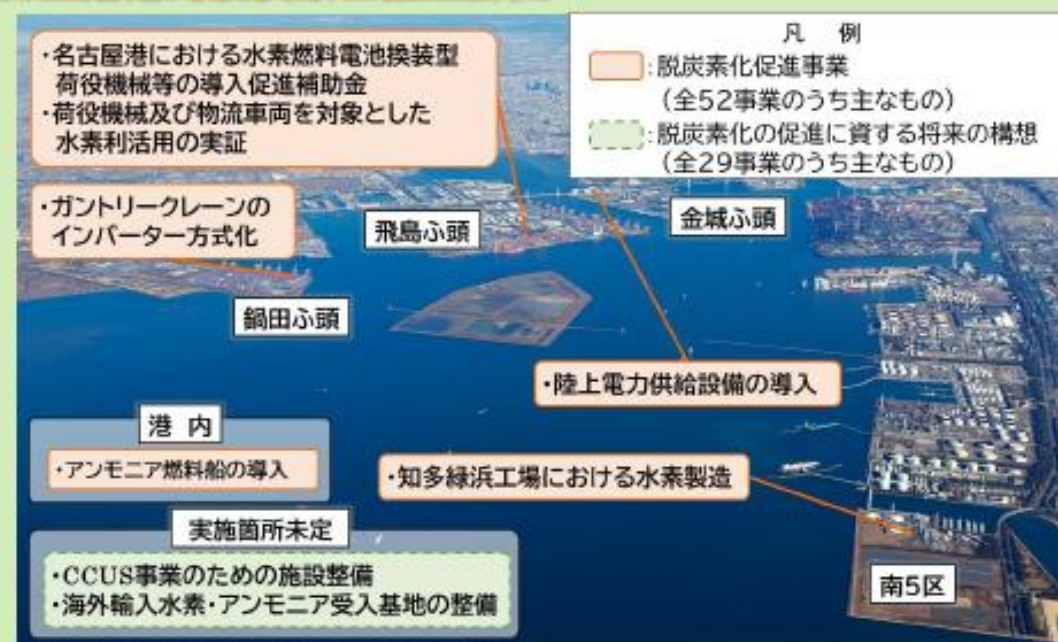
NUTS・集中管理ゲートの運用により飛島ふ頭のコンテナターミナルにおける
所要時間(コンテナレーラー並び始めから退場までの時間) **平均 12~16 分**を実現
更なる効率化に向け "NUTS second" プロジェクト進行中

(鍋田ふ頭コンテナターミナル到着前にトレーラーからコンテナ情報を受信する取組の検討)



出典：名古屋港利用促進協議会「名古屋港におけるコンテナターミナル所要時間調査(2019年3月)」

○カーボンニュートラルポート形成に向けた取り組み
名古屋港港湾脱炭素化推進計画



海外港湾との連携



陸上電力供給設備



脱炭素化促進・啓発イベント



中部地域の経済成長を支え、生産性向上を導く

名古屋港の実力 2024 年名古屋港の日本一

23年連続
日本一

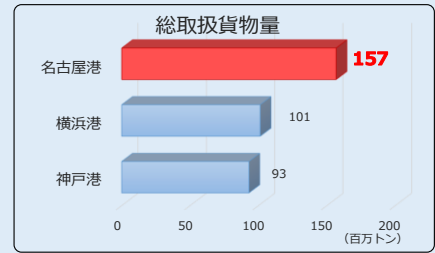
総取扱貨物量
1億5,671万トン

2002年から23年連続



外買取扱貨物量

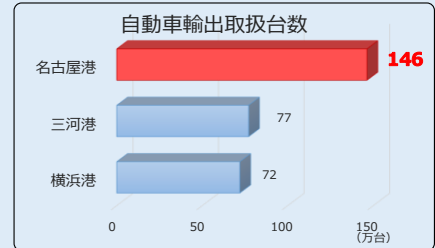
25年連続
日本一



46年連続
日本一

自動車輸出台数
146万台

1979年から46年連続



27年連続
日本一

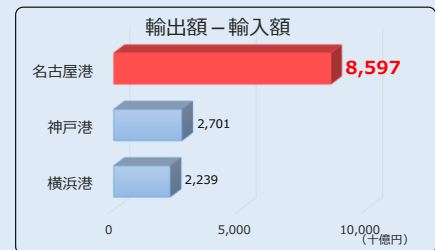
輸出額－輸入額
8兆5,966億円

1998年から27年連続



貿易輸出額

26年連続
日本一



名古屋港の経済効果



愛知県への経済波及効果 約39兆円



愛知県民が購入する



食料品のうち約16%



衣類のうち約88%



家具のうち約58%

が名古屋港経由